

## 《正誤表》

書名 : 一冊でマスター！技術士 第一次・第二次試験「機械部門」要点解説

版数 : 第1版1刷 (2012年3月10日発行)

頁	箇所	誤	正
45	20行目	塑性変形をしようとする力に対する抵抗を大きくすること。	塑性変形をしようとする力に対する抵抗を大きくする。
52	8行目	④現像液を塗布すると、傷が拡大されて模様として現れる。	④現像液を塗布すると、傷が拡大されて模様として現れる。
67	12行目	式 2.19 から断面係数 $Z$ は	式 2.9 から断面係数 $Z$ は
69	5行目	分整数 $C_2$ を求める。	分定数 $C_2$ を求める。(最後の「,」トル)
71	9行目	支店 A を中心にしたモーメント	支点 A を中心にしたモーメント
98	3行目	せん断応力はゼロとなる。また、B	せん断応力はゼロとなる。また、B
99	13, 14 行目	$\sqrt{\left\{\frac{200 - (-100)}{2}\right\}^2 + (50)^2}$	$\sqrt{\left\{\frac{200 - (-100)}{2}\right\}^2 + (50)^2}$
103	8行目	$\frac{1}{2}\sqrt{(\varepsilon_x + \varepsilon_y)^2 + \gamma_{xy}^2}$	$\frac{1}{2}\sqrt{(\varepsilon_x - \varepsilon_y)^2 + \gamma_{xy}^2}$
123	下から 8行目	$a \times b$ の式	式番号挿入 <b>(1.31)</b>
124	14行目	(1.33)	<b>(1.32)'</b>
125	式(1.33)	$M_{OL} = l \cdot M_O$	$M_{OL} = l \times M_O$
126	下から 13行目	$\dots = \frac{30 - 0, 0 - 60, 0}{\sqrt{30^2 + (-60)^2}} = (0.45, -0.89, 0)$	$\dots = \frac{0 - 30, 60 - 0, 0}{\sqrt{30^2 + (-60)^2}} = (-0.45, 0.89, 0)$
126	下から 9行目	式 1.33 に代入すると $M_{OB}$ が	式 1.33 に代入すると $M_{BC}$ が
126	下から 7行目	$= \begin{vmatrix} 0.45 & -0.89 & 0 \\ -10 & 50 & 60 \\ 48.6 & 48.6 & -292.2 \end{vmatrix}$	$= \begin{vmatrix} -0.45 & 0.89 & 0 \\ -10 & 50 & 60 \\ 48.6 & 48.6 & -292.2 \end{vmatrix}$
126	下から 6行目	$= \{50 \cdot (-292.2) - 60 \cdot 48.6\} \cdot 0.45 + \{60 \cdot 48.6 - (-10) \cdot$	$= \{50 \cdot (-292.2) - 60 \cdot 48.6\} \cdot (-0.45) + \{60$
126	下から 5行目	$(-292.2)\} \cdot (-0.89) + \{(-10) \cdot 48.6 - 50 \cdot 48.6\} \cdot 0$	$(-292.2)\} \cdot 0.89 + \{(-10) \cdot 48.6 - 50 \cdot 48.6\} \cdot 0$
126	下から 4行目	$= -7887 + 5[\text{N} \cdot \text{cm}] = -7.9[\text{N} \cdot \text{m}]$	$= 7887 - 5[\text{N} \cdot \text{cm}] = 7.9[\text{N} \cdot \text{m}]$
135	下から 5行目	任意の瞬間動力は式 3.27 から、	任意の瞬間動力は式 3.25 から、
139	下から 2行目	慣性モーメント力のモーメントの関係は、	慣性モーメントと力のモーメントの関係は、
257	下から 3行目	フロバスト設計	ロバスト設計